

## 第2回日野市生物多様性地域戦略策定委員会 議事要旨

日時：平成27年8月11日（火）18：00～19：30

場所：日野市役所 505会議室

出席委員：

|      |                 |
|------|-----------------|
| 亀山委員 | 東京農工大学名誉教授 ※委員長 |
| 小倉委員 | 東京農工大学名誉教授      |
| 鶴田委員 |                 |
| 濱田委員 |                 |
| 田村委員 |                 |
| 井上委員 |                 |
| 森川委員 |                 |
| 篠田委員 | 東京農工大学          |
| 椎名委員 | 東京農工大学          |
| 横山委員 | 東京農工大学          |
| 坂本委員 | 多摩動物公園          |
| 中西委員 | 樹木・環境ネットワーク協会   |
| 白石委員 | 地域戦略室           |
| 成澤委員 | 環境保全課           |
| 高見委員 | 環境保全課           |
| 高荒委員 | 環境保全課           |
| 石黒委員 | 環境保全課           |
| 藤田委員 | 環境保全課           |
| 高木委員 | 緑と清流課           |
| 新井委員 | 緑と清流課           |
| 安部委員 | ごみゼロ推進課         |
| 山本委員 | 都市計画課           |
| 岡澤委員 | 区画整理課           |
| 金子委員 | 産業振興課           |
| 奥野委員 | 庶務課             |
| 清水委員 | 学校課             |
| 加藤委員 | 生涯学習課           |

※敬称略

議事：

1. 前回委員会での議事要点確認
2. 地域戦略の基本的事項について
3. 自然環境の調査について
4. 地域戦略策定のスケジュールについて
5. 市民参画部会のスケジュールについて

配布資料：

資料 1：第 1 回日野市生物多様性地域戦略策定委員会 議事要点・議事要旨

資料 2：日野市生物多様性地域戦略の基本的事項

資料 3：地域戦略策定における自然環境の調査について

資料 3 - 付属資料 1：既存資料一覧

資料 3 - 付属資料 2：「都市のエコロジカルネットワークⅡ」における調査・解析の概要

資料 3 - 付属資料 3：調査地点の候補

資料 4：地域戦略策定のスケジュール（案）

資料 5：市民参画部会のスケジュール（案）

## 1. 前回委員会での議事要点確認

※事務局より資料 1 に基づき説明

○亀山委員長 資料 1 の 3 ページ以降は議事録となっている。今回の議事に対応している部分が 1 ページになり、議事 3 と議事 4、5 について対応している。

## 2. 地域戦略の基本的事項について

※事務局より資料 2 に基づき説明

○篠田委員 1. 目的（本来は資料に「目標」と書きかけたのでしょうか？）の最後に記載されている、「どこにも類似しない」の意図は何か。

○事務局（久保田） 結果として似ている自然環境は他にもあると思われるが、日野市は多摩丘陵や崖線、河川など、豊かな自然環境が都市部に近い位置にあることが特徴の一つと考えている。生物多様性地域戦略は地域に応じたものを策定することとされているため、他の地域と似たものができる可能性はあるが、日野市の自然環境に応じてつくっていくことが日野市らしいものになると考えている。

○亀山委員長 類似しないことが目標ではなく、日野市らしさを出すことは、日野市とし

での意気込みである。

○濱田委員 日野市には用水組合が管理していない用水もあるが、現在市で管理している用水の延長はいくらあるか。

○事務局（中島） 116km ある。

○濱田委員 市が管理していない用水もあるため、実際はそれ以上となるだろう。

○井上委員 個人的な想いとしては、目標に自然との関わりを示す言葉を入れたい。子育て世代にとって住みやすいまちなので、そのような文言を入れられれば多くの市民に受け入れられやすい目標となるのではないか

○亀山委員長 それは地域戦略のテーマとして考えていきたい。

### 3.自然環境の調査について

※事務局より資料3に基づき説明

○田村委員 付属資料1の「都市のエコロジカルネットワークⅡ」の調査項目に魚類があるが、付属資料2の説明に魚類の結果がない。調査内容と合致しないがどちらが正しいのか。

○事務局（彦坂） 「都市のエコロジカルネットワークⅡ」では魚類調査も行われているが、日野市では継続的に水生生物調査が行われているので、魚類相についてはそれに基づいて現況及び過去からの変遷を把握しようと考えている。

○井上委員 日野市において水の中の環境や生物は非常に大切であり、魚類調査を行わないのはおかしい。魚類も調査項目に入れて欲しい。

○中西委員 表3-3はこれから行う現地調査の事であり、魚類相は過去の資料でカバーするということか。

○亀山委員長 今回の調査項目に魚類が入っていないのは、調査をやらないから書いていないのか、やるのに書いていないのか。

○事務局（彦坂） 調査をやらないから書いていない。魚類相の情報は日野市の水生生物調査の結果を活用することを考えている。

○坂本委員 日野市の水生生物調査はどの程度の規模で行われているのか、今後も継続して行う予定なのか、またその調査結果は妥当なものであるのか。

○事務局（彦坂） 付属資料1に、日野市の水生生物調査の結果概要を記載している。調査は17地点である。平成23年度の資料として記載しているが、それ以前の調査結果もある。魚類に加えて底生動物、水草、付着藻類の調査を行っており、水の中の生きものについてはこの結果を有効に活用したい。

○井上委員 最終的なまとめの中に、市の調査結果を含めて報告をするということか。

○事務局（増澤） そのとおりである。付属資料1 既存資料一覧に市が行った水生生物調査について記載をし直す。「都市のエコロジカルネットワークⅡ」を含めて、多様な資料を

活用していくつもりである。

○事務局（彦坂） 水生生物調査が行われた 17 地点は付属資料 3 の地図に落としている。

○事務局（久保田） 日野市の水生生物調査について補足する。平成 24 年、25 年は欠測しているが、平成 26 年、27 年は実施している。平成 27 年は 8 月 28 日に行い、いずれも年に一度の夏季調査である。継続した調査データとして市で持っている。

○鶴田委員 よそう森公園が今回の調査地点として外れているが、その理由は何か。

○事務局（彦坂） 水路の環境として、前回の委員会ではよそう森公園と向島親水路で検討していた。よそう森公園も調査した方がよいことは承知しているが、調査する環境を絞る中で、学校ビオトープとしても整備されている向島親水路を優先した結果である。

○鶴田委員 日野市の特徴は日野用水で成り立っているが、調査対象地に日野用水が抜けてしまっている。日野用水はとても生物の多い場所である。私たちは定期的に調査を行っており、非常に生態系が豊かなことがわかっている。せっかく豊かな環境なのに、どうして調査地から外れてしまったのか。

○事務局（久保田） 用水に関しては日野市水生生物調査の結果を活用しようと考えている。また、この後の議事 5 でも説明するが、委員会とは別にフィールドで勉強会を行うことを起案したい。その中で、大事な地点については定期的に観察を行っていくことも検討できると考えている。

○濱田委員 真堂が谷戸の生息環境区分は何にあたるのか。

○事務局（彦坂） 2 番（斜面・丘陵の落葉樹林）にあたる。

○濱田委員 前回の会議で多摩丘陵側の調査地点が少なかったという話もあったので、その部分が改善されてバランスは良くなったのではないか。

○井上委員 よそう森公園は水の中の生きものだけではなく、陸域の生きものも豊かさである。他市も見学に来る場所である。潤徳小学校のビオトープは水辺の楽校の一環で、（公共）予算によってつくられた環境である。日野らしい（自然）という視点では、よそう森公園で調査を行うべきだと思う。

○濱田委員 教育という視点では学校に近いことは好立地である。私も最初はビオトープの環境を調べることに懐疑的だったが、教育という視点ではベターなのではと考える。

○亀山委員長 調査地点についてはどちらが良い、悪いといった話ではない。よそう森公園については市の調査結果があるので、今回は向島親水路で調査を行うということだろう。

○田村委員 今までの話をふまえて個人的に感じたことであるが、地元の方々で行われている個別の調査データも含め、日野市全体を見渡せるよう地図上に既存資料および確認種（分類群）一覧を表現すればスムーズに議論が進むのではないか。

○亀山委員長 付属資料 1 に記載されている資料以外に提供できるものがあるのなら、リストアップするためにヒアリングを実施していただきたい。

○事務局（増澤） 理想としてはそうしたい。ただ、調査が既に始まっている中で、そこまで資料を網羅的に整理することは時間的に難しい部分もある。既存の資料では、日野市

内での確認情報ではあるが、確認地点が不明である資料も多い。各個人の方々が持たれているデータは大変貴重だが、情報の管理・取扱いに配慮する必要もあるため、一度に作業することは難しい。したがって、まずは、定量的に全体を見渡せる過去の資料として「都市のエコロジカルネットワークⅡ」、日野市が所有する地点が明らかで調査手法が明確な資料、過去のデータと比較をするための今回の調査地点（9地点）の結果をまとめたのち、その他の個人のデータも共有していきたい。

○濱田委員 種の位置データの公開は、盗掘の可能性等があるため、慎重に行ってほしい。

○亀山委員長 話の内容を整理すると、情報の公開は慎重に行うことは当然そのようにお願いしたい。また、皆様がお持ちのデータの有無に関する聞き取り調査は、手間がかかる事ではないので（事務局で）行ってほしい。分析や地図化は追って行うとし、どのようなデータがあるかはヒアリングしたのち、既存資料一覧に整理を行っていただきたい。

○事務局（増澤） それは対応する

○濱田委員 環境庁の緑の国勢調査に日野市は含まれていないのか。見つかるようなら、参考にしたらよいのではないか。

○亀山委員長 環境省の自然環境基礎調査については（事務局で）調べておくこと。

○森川委員 「都市のエコロジカルネットワークⅡ」の調査内容だが、昆虫類の結果が 5 目 43 科 187 種となっている。これは対象とする目を絞った調査ではないか。今後の調査も同様の内容で行うのか。

○事務局（彦坂） 今回の調査は昆虫相全般を対象として行う。

○井上委員 東京都建設局河川部に河川水辺の国勢調査結果が確認できる「東京の川にすむ生きもの」というデータベースもある。生きものの写真も掲載しているので、既存資料として加えていただければと思う。

○森川委員 既存資料の「新・日野の動物ガイドブック」が調査年度不明となっているが、元となる詳しい資料がある。環境情報センターの年報に記載されているはずである。

○事務局（増澤） 確認して追記する。

#### 4.地域戦略策定のスケジュールについて

※事務局より資料 4 に基づき説明

○田村委員 前回の委員会で、水と緑の分科会の話が出ていたが、それについてはどうなったのか。

○事務局（成澤） この後の議事 5 で説明を行うが、委員会と並行して市民参画部会をご提案しようと考えている。その中で委員の皆様にご議論いただき、分科会の検討を行えたらと考えている。

○田村委員 平成 29 年度に地域戦略の素案作成とあるが、何月頃を想定しているのか。

○事務局（久保田） 具体的には未定であるが、2 月に策定を考えている。そこから逆算す

ると、11月か12月に素案ができており、年末か年明けにパブリックコメントを募集する流れになると想定している。

## 5.市民参画部会のスケジュールについて

※事務局より資料5に基づき説明

○亀山委員長 市民参画部会の説明、何の目的で何をするのかについて、資料に書かれていないのはなぜか。

○中西委員 市民参画部会の位置づけがよくわからない。委員会に対して原案をつくる組織なのか。

○事務局（成澤） 市民参画部会では、今後市民を巻き込んでいくことを目的に、市民参画の調査や勉強会の実施について検討したい。

○亀山委員長 市民参画部会を行う目的は何か。

○井上委員 勉強会、見学会とあるが、どのようなイメージなのか。

○事務局（成澤） 委員の方々にはたくさんの知識やご経験を持たれた方がいらっしゃるのので、その方々に協力していただき、講師となっていていただき勉強会等を実施できればと想定している。

○事務局（中島） 今回委員会に参加されている方の中には、日野のことをよく知らない方もいる。私たちは日野を知っていることを前提に話をしていることが多いので、そのような方々に少しでも情報を共有したい思いがある。そこでまずは勉強会を行って、日野をより知ってもらいたい。特に学生さんは日野の自然などについてよくわからず、何を発言してよいのか困惑している部分があるのではないかと考えている。それぞれ専門的な知見をもって勉強している方なので、そのような方々にも同じベースラインに立って議論してもらえたい。そこで、知識のある委員の皆様には講師となっていていただき、共に日野を知る勉強をしてもらいたい。そして、自分たちが作っていく地域戦略にどうやって参画して、どうやって自分たちの意見として発言していくか、という基礎的な部分をフォローしていきたい。そのように理解したことを今後多くの市民に発信していくことは、市民にとってわかりやすい言葉で発信することができるのではないかと考えている。地域戦略の基本だが、市民一人ひとりが、地域の環境を知り、大切にしていって、次世代に繋いでいく力になるのではないかと考えている。市民参画部会の資料は作り直して、次回ご提案させていただく。

○井上委員 見学会について私が心配しているのは、遅い時期になると生きものが少なくなることである。生きものができるだけ多くいる時期に見た方がより理解が促進する。できれば予定の11月よりは10月の方が良い。

○森川委員 市民参画部会のメンバーは、一般の市民の方が。

○事務局（中島） 市民委員の方を想定している。

## その他

事務局（高見） 「都市のエコロジカルネットワークⅡ」は事務局として1冊購入している。一部しかないため、貸し出しは難しいが、この会の解散後みて頂くことはできる。

以上